



スマイルサポート



No.8 平成31年3月6日発行

小・中学校との学校間交流・居住地校交流の事前学習を終えて ～1年間のまとめ～

今年度は、八つの小学校と中学校に訪問し、学校間交流・居住地校交流を行ってきました。事前学習の内容は、大まかに①比内支援学校について、②交流の目的、③交流の内容、④仲よく交流するためのポイント、⑤やってみよう、⑥感想発表です。⑤のやってみようでは、仲よく交流するためのポイントを練習したり相手のことを考えて行動する練習をしたりしています。事前学習は、比内支援学校のことを正しく知ってもらいよい機会になっています。本号では交流先の児童生徒の感想を交えながら、事前学習について、年間の取組を紹介します。

小学校編



二人一組のペアで行います。お互いの人差し指でペンを挟み、上げ下げします。相手のスピードに合わせるのがポイントです。



グループで手をつなぎ、フープを隣の人へ送っていきます。体を動かしやすいように両隣の人に合わせて動いてあげることがポイントです。

友達の気持ちを考えて、友達が動きやすいように…

児童の感想

- ・友達の気持ちを考えて交流したいです。(小4 男児)
- ・なかよくなるためのポイントがわかったので、それをちゃんとやってよこばせたいです。(小2 女児)
- ・(車椅子を体験してみても)車いすにのっている人のきもちがよくわかりました。(小2 女児)

中学校編



写真を提示しながら、比内支援学校の様子や学習の様子、行事等について紹介しています。みんな真剣な表情で聞いてくれました。



交流当日に行う、ニュースポーツの「ポッチャ」に取り組みました。初めての挑戦!ということで、ルールを確認しながら行いました。

生徒の感想

- ・いとくの花壇作業をしたり達子森を走って体力をつけたりしていてすごいなと思いました。(中1 男子)
- ・今まで疑問だったことが分かって良かった。私は無意識にせかすことがあるので、注意して話をしたいです。(中1 女子)
- ・ポジティブな言葉を掛けられるのとネガティブな言葉を掛けられるのでは、発揮できる力が全然違うことが分かった。(中1 女子)

充実した交流となるよう、また、児童生徒や学校のことを知ってもらえるよう、今後も事前学習の内容を検討していきます。